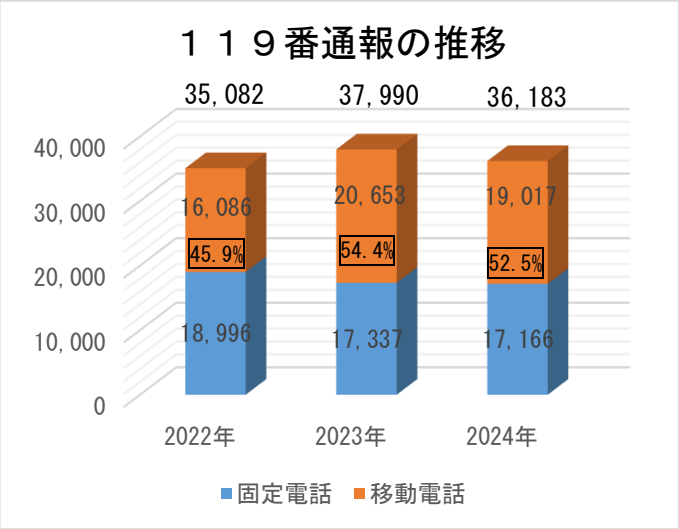
１１９番の適正利用について

１１９番は緊急通報です

岩手県央消防指令センターが 2024 年に受理した 119 番通報は 36,183 件でしたが、その中には、間違いや問い合わせなどの緊急を要しないものが 5,886 件ありました。これは、全体の１割以上（16.3%）を占めていることになります。

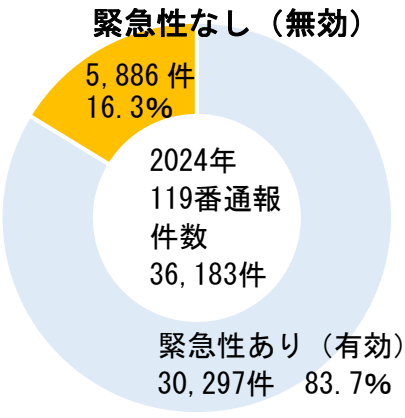
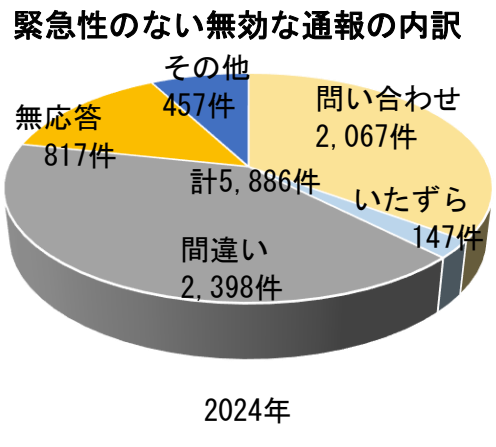
緊急性のない無効な通報は、災害時や一刻を争う事態への対応に支障を及ぼすおそれがありますので、119 番は、緊急通報として適正に利用しましょう。



携帯電話やスマートフォンなどの移動電話からの 119 番通報の割合は年々増加傾向にあり、全体の約 52%を占めています。

緊急性のない無効な通報

緊急性のない無効な通報としては、市外局番の押し間違いや、火災の場所、休日救急当番医の問い合わせなどのほか、いたずら電話も多くなっています。

また近年は、かばんやポケットに入れたスマートフォンの誤発信による無応答通報も増えています。

消防からの呼び返しの電話に出ない時は、災害等を考慮して消防車両を出動させる場合もあります。